

1. 事業方針

わたしたちがすんでいる地域のすべての子どもたちを育む文化活動をめざす

(1) 豊かな鑑賞活動をめざそう

舞台鑑賞作品4作品を保障することができた。事前活動や劇団の人たちとの公演後の交流会で人と人が触れ合って、よりいっそう感動を増幅することができた。家族の参加も増えてきて男性の参加が多くなってきた。また、ケーブルテレビでの広報活動で広くアピールできたので当日参加者が増加した。

フェスティバルは1ステージ、近郊市町村にも紹介し8ステージを取り組んだ。

(2) 子どもの権利条約の啓発につとめよう

萩子どもセンターおやこニュースで「子どもの権利条約を知ろう」をシリーズで毎月発行計12回掲載した。

課題としては子どもの社会参画の実現に向けて子どもの権利条約を活用していくことが必要になってきている。

(3) 人の集まる、人から頼りにされる「萩子どもセンター」になろう

多彩な事業の展開により、活動や参加も増加した。また、事務所が広がったので子どもたちも集まりやすくなり異年齢の交流の機会が増えた。

今後は子どもの居場所としての活動の展開が必要になってくるので、大人のサポーターとネットワークの拡大を図って、地域の大人たちの支援体制をつくるのが課題です。

(4) 中ホール建設を呼びかけよう

具体的な呼びかけはできなかったが、大ホールを暗幕で仕切って中ホールとして対応したので必要性は実感できた。

2. 事業の実施に係わる事項

(1) 特定非営利活動にかかる事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	備考
舞台鑑賞事業	鑑賞例会 ・怪じゅうが町にやってきた (人形劇団 プーク) 100回目の作品で宣伝に力を入れ、事前に「怪じゅうフェスティバル・リサイクルで怪じゅうを作って遊ぼう」4月30日(明倫小体育館)開催、貯金箱・ぬいぐるみ・怪じゅうの絵を描いて楽しく遊んだ。公演では大きな怪じゅうグリフィンに子どもたちは魅せられ大好きになった。公演後の劇団の交流も子どもたちの質問が多くでた。 この公演から暗幕で会場を仕切った。	平成12年 5月19日 18:30~	萩市民館 大ホール	4歳以上大人まで 参加333人
	・カフカフドゴシゴのリズム探偵団(選択例会) (コンチェルト・ムジカ) 世界のリズムを变幻自在に操る音楽バンドに魅了、リズムを感じて踊り、音楽を楽しんだ。	10月6日 18:30~	萩市民館 大ホール	参加207人
	・三四朗サックストーク(選択例会)	12月21日	萩市民館	参加147人

	<p>(アサンテプラン) 中学生以上を対象としていたので事前に中学校にチラシを配れるように宣伝し、交流した。 公演ではストリートミュージシャンの三四朗さんのサクソとトークに魅了した。中高生たちが進行から片付けまで担当した。 ・西遊記「悟空誕生の巻」 (人形劇団 むすび座) 元気のでる舞台で会場いっぱい役者さんが走りまわり、キント雲が飛ぶたびに拍手がわいた。日中合作作品でみごたえがあり迫力があつた。 子ども舞台芸術小公演(フェスティバル) ・にっこりぽっかり座 (劇団 風の子九州) テンポの早い作品で小さい子どもたちを引きこませていた。</p>	平成13年 3月3日 18:30~	萩市民館 大ホール	参加333人
	<p>子ども舞台芸術小公演(フェスティバル) ・にっこりぽっかり座 (劇団 風の子九州) テンポの早い作品で小さい子どもたちを引きこませていた。</p>	平成12年 6月16日 19:00~	穂東小学校	4歳以上大人まで 参加132人
子どもの 諸活動支 援事業	<p>高学年活動 ・スポーツ交流会 4年生以上の子どもを対象に月1回の交流会の企画、実施。(毎月第3土曜日) 1月からマンネリになってきた内容を検討し、高学年交流会に改め、会場を萩こどもセンター事務所で実施。 ・サマーキャンプ</p>	年10回 8月18日~ 19日	明倫小学校 ・事務所	参加延べ91人 参加17人
	<p>出発地球号~子どもの国際交流~パート2 継続した活動になり、参加者は異文化に対して自然に交流できるようになった。なじみの人たちもふえてきたので、より深い理解と興味も増した。 ・アジア発見 ・相島キャンプ ・大交流会 ハロウィンパーティー (事前にデコレーション作り10月14日)</p>	年3回 4月7日 7月29日~ 30日 11月3日	萩市民館・萩館 相島小学校 田町商店 街・事務所	参加延べ232人
	<p>ストリートダンス 萩夏まつり参加で恒例となり、楽しんで表現活動ができた。参加者も増え、小学生・中高生・お父さん・お母さんのチームで練習しダンスを披露した。プロの指導による練習、発表の場を提供。</p>	年3回 5月27日 7月23日 8月3日	萩青年の家 相島小学校 吉田町	参加延べ210人
	<p>森と友だちになろう 森林組合・市役所農林課・自然観察指導員の協力で森林整備作業を体験した。森林コンサート(源之助バンド)を午後から楽しんだ。自然の森での作業は思っていた以上に楽しいものになり、カマヤノコギリを使う作業は初めての貴重な体験となった。</p>	7月16日	田床山	参加66人
	<p>夏まつり遊びの広場 子どもたちが遊べるコーナーを作り、おまつりをもっと楽しめるようにした。</p>	8月3日	吉田町	約300人
子育て支 援事業	<p>ピヨピヨの会 0歳児から就園未満児までの親子を対象に遊びの広場、学習会、交流の場を提供。乳幼児を持つ親同士のコミュニケーションをはかる。育児の不安感をほぐす場になっている。月2回実施。</p>	年14回	萩総合福祉 センター他	未就園児と保護者 参加延べ369人
	<p>子育てミニミニ講座 身近な人や専門家を講師に、子育てについて楽しく学び合えた。連続しての参加者も多く内容が身近なテーマだったので好評だった。継続してほしいと参加者から要望がでてきた。講演のまとめ集も作成した。</p>	年7回		参加延べ242人

	<ul style="list-style-type: none"> ・「育てよう、子どもの心」納富俊郎さん ・「自然なお産、自然な子育て」沖野雅代さん ・「国際化時代の子育て」安東邦昭さん ・「本音で語ろう、家庭・学校・地域」先生3人 ・「わたしの読書、あなたの読書」榎真好さん ・「子育て 私流…」子育て経験者6人 ・「秋の沖の子育てから、心の育てへ」増山均さん 	5月8日19:00 6月29日10:00 7月4日19:30 8月28日19:30 9月26日19:30 11月14日19:30 12月2日19:00	秋市民館 秋市民館 秋総合センター サンライズ 秋市民館 秋市民館 サンライズ	
子どもと文化に関する活動支援事業	自主的影絵集団「べっぴんちゃん」による学校ほか施設の訪問公演（無料）支援 わくわく応援隊 影絵とストーリーテリングのボランティア公演、小学校、幼稚園、保育園で開催した。	年10回	市内近郊の学校及び 小学校など	従事延べ50人 参加584人
	クリスマスパーティー AETをゲストに料理を作ったり、英語でゲームをしたりして楽しんだ。中高生の参加が多く小学生も喜んでいた。	12月9日	事務所	参加31人
	地域のブロック、サークルの交流会支援 ・椿東ブロック 証絵(1月) フォック会(1月) ・指月ブロック パーティ会(8月) フォック会 ・中央ブロック 証絵(10月) フォック会			
	ストーリーテリング（おはなし やまんば） お話し勉強会。	年10回	秋市民館	参加延べ60人
子どもと文化に関する啓発事業	中ホール建設は厳しい状況のなか、他団体と協力して建設を働きかけることはできなかった。	随時	近隣他団体	
子どもと文化に関する広報事業	秋こどもセンターの広報活動 （パンフレットの作成など）			
子どもの権利条約推進事業	子どもセンターニュースなどで広報、啓発を実施	年12回発行 (ニュース)		



活 動 の ま と め

☆ ブ ロ ッ ク

椿 東

ブロック長 有田真美子
委 員 浴野和枝・藤原智恵子

活 動

鍋 会
編物教室
お正月会
フェスティバル

一年間ポツポツの行事でしたが、ブロックとしての活動を行うことができました。なかなか新しい人材の開拓ができず、次年度の体制を見直す時、人の顔が見えてきません。でも活動は大変楽しく行うことができ、特にお正月会では、雪の降る寒い天候にもかかわらず70名近い参加で豚汁が少し足りないくらいの嬉しい悲鳴でした。これがこのまま会のまとまりとしてつながっていけばいいのですが・・・どう会員さんとつながっていくか、いかに多くの会員さんが参加できる企画を考えていくかが問題になってきます。

指 月

ブロック長 市原加代子
岩瀬成子
委 員 堀 正美

8月25日川添の河川公園でバーベキュー大会を行いました。参加者は21名。夏の終わりの夕暮れ、子どもたちは広場をかけまわり、大人は暑く忙しかった夏の思い出をお互いに話しながら、ひとときの休息を楽しみました。バーベキューもおいしく、花火大会も盛り上がりました。

中 央

ブロック長 松野奈生子
委 員 山本典美・加藤真理子
弘中雅子

当初はブロック長がわからないことがあるとブロック会を開くといったちょっとおかしな理由ではあったんですが、集まれば子どもセンターのことだけでなく学校のこと子どものことなどいろいろ話も広がり毎回楽しいブロック会でした。

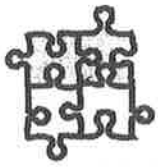
なかでも秋に行ったソフトバレーボール大会は終始おなかの皮がよじれるほど笑い、楽しいブロック会となりました。

この一年新米ブロック長をいろいろ助けていただきありがとうございました。

次年度は中央ブロックでフェスティバルにも取り組んでいきます。劇団風の子九州の「風の子あそびやとっぴんしゃん」です。ブロックみんなで力を合わせてがんばっていきましょう。



☆ 専 門 部



企画部 ・ 高学年

部長 吉見浩子

スタッフ 横田千賀子(高学年担当)

木村朱美 ・ 長谷妙子

江山規子 ・ 藤原智恵子

今年度は「出発地球号！子どもの国際交流」2年目ということで AET やパンプキンフレンズいつも協力していただいている在日外国人の方々と同様になり、事業が終わると「来年はどんな風でしょう？」と企画の話がでてくるようになりました。

事業としては単発的で参加する子どもたちが継続的活動として捕らえにくいところが問題になっています。

高学年の活動は月1回のスポーツ交流を1月より事務所において高学年交流という形で始めて見ました。具体的な活動でないということなどから参加者が少ない状態です。この高学年交流をどう運営するかが課題です。..



部長 伊藤京子

スタッフ 溝部美樹

城一雅子 ・ 白上由紀江

白上洋子 ・ 玉木夏世

今年度は度々希望の出ていた小さい子のための人形劇を観ることができました。

また家でできそうにない絵の具遊びやダンボール遊びでは生き生きした親子の姿が見られました。

その他、スタッフのアイデアあふれる企画で18回実施しました。(その内2回は自由遊び)

年間を通じての参加は少ないのですが多い時は40組以上、少ないときでも10組もの参加がありました。

他の子育てサークルとのつながりもでき、友だち子育ての輪が確実に広がっているように思います。

スタッフ会議では企画の話し合いからはずれ子育てなどの雑談で盛り上がることも多くこの和やかなムードを会にも広げ、共に育ちあう会作りを次年度も続けたいと思います。



部長 清水和子

スタッフ 有田真美子 ・ 清須紀江

会員証の製作、ご案内の製作・チラシ作り

この一年は、スタッフの方に助けていただきながら広報部の活動を行ってきました。

一人でも多くの方にチラシ・ポスターを見ていただいて菽子どもセンターを身近なものに感じていただくためにチラシを入れたファイルを病院の待合室に置きました。

次年度はゆとりをもって例会準備をしていきたいと思っています。



部長 樋口ますみ

スタッフ 金子真弓 ・ 堀 正美

杉山真砂子 ・ 寺山朋子

みなさまご協力ありがとうございました。

おかげさまでシーズンごとのチョコレートの売上は定着してきました。職場で注文をまとめてくださる会員さんにも大きく支えられています。恒例となった“しろうおまつり”もお父さんや高校生の活動・交流の場としての意味があるようです。

ごま・ちりめん・いりこも常時事務局に置いてありますのでご利用ください。



部長 石丸智子

スタッフ 青木史枝

武井貴代美

他劇場の例会やいろいろなところで行われる公演を積極的に観に行き例会の企画に役立てる目的をもった部ですが、今年度はあまり活動できませんでした。公演は平日の夜が多く市外ということもあり時間的にも参加することが難しかったです。

次年度の例会企画についてはアンケートを作成し、原案を出すことができました。

今後は、スタッフを充実させ単に例会企画を考えるのではなく、鑑賞活動全体をとらえる専門部になることが望まれます。

☆ 鑑賞例会

椿 東
ブロック
担当

「怪じゅうが町にやってきた」

《人形劇団 プーク》

2000年5月19日(金)18:00～

萩市民館 大ホール

100回目の記念例会として大型人形劇を取り組みました。事前に人形作りやぬり絵など、「怪じゅうフェスティバル」をして楽しみ、多くの子どもたちが楽しみにできる例会となりました。

思っていたよりもずっと大きいグリフィンに、どうやってそうさせるのかなどふしぎにおもうこもいたのではないのでしょうか？

いっしょうけんめいに舞台を見つめる子どもたちの目がキラキラと輝いているのが印象的でした。



指 月
ブロック

「カフカドゴシコのリズム探偵団」

《コンチェルト・ムジカ》

2000年10月6日(金)18:30～

萩市民館 大ホール



とても楽しい例会でした。子どもたちの知っている曲がたくさんあり、皆ゴキゲン。となりのトトロの時にはもうピーク。体を前に乗り出す子、リズムに合わせて体を動かす子、途中からは大合唱のようになりました。

例会後のアンケートでもほぼ全員「楽しかった」との感想。「子どもたちは音楽が好き」そして「音楽にはパワーがある」改めてそのことを思わされました。

「三四朗サクストーク」

《アサンテプラン》

2000年12月21日(木)19:00～

萩市民館 大ホール

中央
ブロック
担当

クリスマスの飾りと三四朗さんも気に入って持って帰られたあのポスターで飾られたロビーから会場に入るとやわらかな何ともいえない素敵なサクスの音色が聞こえてきました。サクスの音色を聴くだけでとても気持ちよくゆったりとした気分になりました。最高の気分になりました。できればもう一度ホールではなくストリートで聴いて見たいと思いました。

中学生以上を対象にした例会でした。多くの中高生に聴いてほしいと思い、1500円の中高生用のチケットを作成し販売しました。内容雰囲気ともとても良かったのですが、この年齢の子どもを誘う難しさを感じた例会でした。

日中合作人形劇第2弾

「西遊記」～悟空誕生の巻～

《人形劇団 むすび座》

2001年3月3日(土)18:30～

萩市民館 大ホール

小さな子からおとなまでじゅうぶん楽しめた例会でした。ストーリーや台詞は幼児には難しいかなと思われる場面もありましたがそれ以上に人形の動



椿 東
ブロック
担当

きや舞台装置が工夫されしっかりと集中して観ることができました。特にきんと雲が会場の後ろから飛ぶシーンは歓声が上がり子どもたちが目を輝かせていました。

日本芸術文化振興会の助成を受け、養護学校の子どもたちを招待しましたが、年1回はこうした取り組みをしたら良いという声もきかれました。

当日券で観にきた人も多く会員の参加率も高い例会でした。

